

東海学園大学と連携協定を締結しました

2月4日(月)に中津川市と東海学園大学は、更なる友好関係を深め相互に協力し、地域社会の発展、人材育成及び学術の振興に寄与することを目的として、包括的な連携協定を締結しました。

青山市長は、「若い学生に中津川市をサテライトキャンパスとして活動してもらいたい。そしてその活動を市として支援していきたい。」と今後の活動に期待を寄せました。



協定書(木製)を持つ青山市長(中央左)と松原学長(中央右)

今後、中津川市と東海学園大学は協定をもとに加子母地区で元号改正の大学の記念事業として「森づくり」事業を行います。今後も、お互いの強みを活かし、産学官連携やまちづくりの取り組みを行っていきます。